

目 次

I. 2007年末の慢性透析患者に関する基礎集計

1) わが国の慢性透析療法の要約

- (1) わが国の慢性透析療法の要約（図表1）…………… 2

2) 患者数等

- (1) 慢性透析患者数の推移（図表2）…………… 3
(2) 年別透析患者数、導入患者数、死亡患者数の推移（図表3）…………… 4
(3) 年別人口100万対比の透析患者数の推移（図表4）…………… 5
(4) 人工腎臓台数の推移（図表5）…………… 6
(5) 慢性透析治療の形態（図表6）…………… 7
(6) 都道府県別慢性透析患者数（図表7）…………… 8
(7) 透析期間別および性別による患者数（図表8）…………… 9

3) 導入患者の現状

- (1) 導入患者の年齢と性別（図表9）…………… 10
(2) 導入患者の原疾患と平均年齢（図表10）…………… 11
(3) 年別透析導入患者の主要原疾患の推移（図表11）…………… 12

4) 年末患者の現状

- (1) 年末患者の年齢と性別（図表12）…………… 13
(2) 年末患者の原疾患と平均年齢（図表13）…………… 14
(3) 年末患者の主要原疾患の割合推移（図表14）…………… 15
(4) 各年導入患者および各年末患者の平均年齢の推移（図表15）…………… 16

5) 死亡原因

- (1) 導入患者の死亡原因分類（図表16）…………… 17
(2) 導入年死亡患者死亡原因の推移（図表17）…………… 18
(3) 2007年死亡患者の死亡原因分類（図表18）…………… 19
(4) 年別死亡原因の推移（図表19）…………… 20

6) 年間粗死亡率と生存率

- (1) 年別粗死亡率の推移（図表20）…………… 21
(2) 導入後1年・5年・10年・15・20年生存率の推移（図表21）…………… 22

目 次

Ⅱ. 新規調査項目に関する集計

1) 透析液水質管理状況

- (1) 透析液エンドトキシン検査 (図表22) 24
- (2) 透析液細菌検査 1) (図表23) 25
- (3) 透析液細菌検査 2) (図表24) 26
- (4) エンドトキシン捕捉フィルタ (ETRF) 装着状況 (図表25) 27

2) 肝炎ウイルス調査の結果

- (1) HCV抗体陽性率の推移 (図表26) 28
- (2) 2007年末におけるHCV抗体陽性率と年齢の関係 (図表27) 29
- (3) 2007年末におけるHCV抗体陽性率と性別・透析歴・主要な原疾患の関係 (図表28) 30
- (4) 2007年末におけるHBs抗原陽性率と性別・年齢・透析歴・主要な原疾患の関係 (図表29) 31

3) 腎性貧血治療の現状

- (1) ヘモグロビン濃度の分布 2005年末と2006年末と2007年末 (図表30) 32
- (2) ヘモグロビン濃度の分布 年齢別 性別 (図表31) 33
- (3) 原疾患とヘモグロビン濃度の分布 (図表32) 34
- (4) ヘモグロビン濃度と鉄代謝 (血清鉄濃度・トランスフェリン飽和度) (図表33) 35
- (5) ヘモグロビン濃度と鉄代謝 (血清フェリチン濃度) (図表34) 36
- (6) ヘモグロビン濃度と血清CRP濃度の分布 (図表35) 37
- (7) 血清CRP濃度と鉄代謝 (図表36) 38
- (8) ヘモグロビン濃度と合併症の有無 (図表37) 39

4) 大腿骨頸部骨折既往の現状

- (1) 大腿骨頸部骨折の疫学 (図表38) 40
- (2) 頸部骨折既往と栄養状態、透析歴 (図表39) 41
- (3) 頸部骨折と血清補正Ca、リン、iPTH (性差別) (図表40) 42
- (4) 頸部骨折と血清補正Ca、リン、iPTH (糖尿病有無別) (図表41) 43

5) 新規透析導入患者の現状

- (1) 本年度導入調査対象の年末時点での治療形態 (図表42) 44
- (2) 透析導入時の臨床症状の有無 (図表43) 45
- (3) 透析導入時血清クレアチニン濃度 (mg/dL) (図表44) 46
- (4) 透析導入時糸球体濾過値 (eGFR mL/min/1.73m²) (図表45) 47

Ⅲ. 2007年末における解析結果

- (1) 2006年末透析液細菌汚染の程度と生命予後に関する解析 51
- (2) 2007年末大腿骨頸部骨折の既往に関連する因子に関する解析 54
- (3) 2006年導入患者の生命予後に影響を与える因子に関する解析 60

Ⅳ. 統計調査利用規程

- 会告 日本透析医学会雑誌第36巻 4号巻頭会告より転載 76